

ソフトウェア信頼性・安全性向上のためのサポート基盤整備事業
検索システム・IPA（いぱ）サーチの構築

公募要領

2006年10月

独立行政法人 情報処理推進機構

目次

1. 事業概要	1
(1) 目的	1
(2) テーマ公募内容	1
(3) スケジュール（予定）	2
2. 応募要件	2
(1) 提案者の要件	2
(2) 提案内容	2
3. 審査方法等	2
(1) 審査方法	2
(2) 審査基準	2
(3) 審査結果の通知	2
4. 契約条件	3
(1) 契約形態	3
(2) 開発期間	3
(3) 支払いの対象	3
(4) 検収条件	3
(5) 納入物件	3
(6) 成果物に係る知的財産権の取扱い	4
(7) プロジェクト実施上の留意点	4
(8) その他	4
5. 応募要領等	4
(1) 受付期間	5
(2) 提出書類	5
(3) 電子申請画面での入力項目	6
(4) 電子申請終了の確認	6
(5) 応募に関する問い合わせ	6
(6) 電子申請に関する問い合わせ	6
6. 提案書記入要領	7
(1) 提案書記入上の注意	7
(2) 申請書の記入方法	7
(3) 詳細説明書の記入方法	7
(4) 会社概要の記入方法	9
(5) 企業コンソーシアム概要の記入方法	9
7. その他	9

1. 事業概要

(1) 目的

独立行政法人 情報処理推進機構（以下「IPA」という）では、過去のIPAの成果事例、及び成果報告書等についてWeb上に公開しており、ユーザーが随時照会可能となっております。しかし、現在のIPAのサイト内検索ツールでは、IPAの事業についてある程度の知識を持つユーザーでないと、一度の検索で目的の情報にたどり着くのは困難です。

さらに、検索時のキーワードとなるIT関連用語には、アルファベット3文字に代表されるような略語や、表記のゆらぎがある単語が多く、検索キーワードとして用いる単語により、同じ事柄を検索するのに検索結果が一定でないことも、ユーザビリティの向上を妨げる要因となっております。

インターネット上の検索システムを用いて、インターネット上の情報を検索することは一般的ですが、ホームページを立ち上げている組織には、そのトップページに、組織固有の情報を検索するためのシステムを用意しているケースが多く見受けられます。検索システムはユーザーの検索の目的、及び利便性によって使い分けられることがあり、必ずしも特定のインターネット上の検索システムに依存することによって、組織固有の検索システムが不要となるものではありません。

本公募は、組織固有の情報検索を向上させるための、サイト内検索システム「検索システム・IPA（いば）サーチ」の開発を実施するものです。現在のIPAの検索システムの機能強化と、インタフェースの改良やマニュアルの整備を行い、サイト内検索システムとして利便性に優れた検索システムを実現します。また、広く一般に普及している検索エンジン「Namazu」をベースに開発することで、可用性の向上と、公共財としての社会への普及を図ります。

本公募の実施にあたり、「検索システム・IPA（いば）サーチ」が、サイト内検索において同様の問題を抱える組織にとってのソリューションとなることを目指し、以下のテーマを設定します。

(2) テーマ公募内容

本公募では、別紙1（公募内容）に示した機能と条件等を満たす提案を募り、提案の中から内容を審査して、優れたものを選定し、本事業を実施するものです。

尚、開発成果物については、公共財として広く一般に利用されることを目的としております。そのため、開発は「Namazu」をベースとすることとし、開発後はオープンソースソフトウェアとして一般公開することとします。

■開発テーマ

検索システム・IPA（いば）サーチの構築

■開発期間

2006年11月中旬～2007年3月下旬

■提案締切

2006年11月10日（金） 17時

(3) スケジュール（予定）

本事業は、以下のスケジュールで実施します。

◎審査・契約	2006年11月中旬
◎開発	2006年11月中旬～2007年3月
◎納入	2007年3月31日
◎リリース	2007年4月

2. 応募要件

(1) 提案者の要件

提案者は、法人格を持つ事業体とし、消費税及び地方消費税について、納付期限を過ぎた未納税額がないことが必要です。

提案者は、単独の事業体であっても、企業コンソーシアム等の代表事業体であっても構いません。

当該プロジェクトについて、提案者は検索システムの動向等に関する幅広い知識等を有し、有用な検索システムに関する情報に精通していること、ならびに当該検索システムを効率的に構築する技術と体制を有していることが必要です。

(2) 提案内容

公募内容(別紙1)に示された機能、条件等を具体化した提案といたします。

3. 審査方法等

(1) 審査方法

提案内容の審査は、以下の手順に従って実施します。

① 書面審査及びヒアリング

提案書類の内容をIPAにおいて審査します。また、必要に応じてヒアリングを実施します。

② 財務審査

必要に応じて提案者の財務状況の審査を実施します。

(2) 審査基準

具体的には「2. 応募要件」の内容を満足していることを確認のうえ、「6. 提案書記入要領」に従った提案であることを確認のうえ、公募内容(別紙1)にある「5. 審査基準」に基づき実施いたします。

(3) 審査結果の通知

最終的な審査結果については、2006年11月中旬をめどに各提案者に通知するとともに、IPAのホームページに公表します。

4. 契約条件

(1) 契約形態

請負契約方式とします。

必要により再請負させる場合は、その理由、内容、再請負先の名称及び体制、役務範囲、費用等について、書面により事前にIPAに提出し、承認を得ることになります。

(2) 開発期間

開発期間の終了日は、原則として2007年3月末までとします。ただし、提案内容により採択後提案者と協議の上、短縮または延長して契約する場合があります。

(3) 支払いの対象

支払いの対象は、ソフトウェアの開発及び成果のとりまとめに必要な経費とし、具体的には、人件費、外注費、一般管理費等の費用が対象となります。

(4) 検収条件

IPAで開発成果の検収を行います。検収に際しては、機能項目ごとに成果物が開発仕様書に定めた仕様どおりに完成しているかどうか、をもって検収条件とします。検収に合格しない場合は、原則として契約金額について支払いを行いませんので、十分に留意してください。

また、開発の途中段階で進捗確認を行い、計画から著しく逸脱している場合は、開発途中に契約を打ち切ることがあります。

尚、検収は原則としてIPA内に設置するテスト環境で行います。

(5) 納入物件

契約期間終了時に以下のものを納入していただきます。尚、(i)及び(ii)については電子媒体（CD-R等）で納入していただきます。

(i) 検索システム・IPA(いば)サーチのシステム定義書

- ・システム設計書（基本設計書、詳細設計書、試験報告書）
- ・運用上必要な取扱説明書（運用・保守マニュアル、チュートリアル）

(ii) 検索システム・IPA（いば）サーチ

- ・ソースコード
- ・実行可能プログラム（実行パラメータ及びコンテンツを含む）
- ・類義語辞書（開発にあたり、類義語辞書は基本的にIPAが有する既存の辞書を使用することとするが、市販の類義語を活用する提案を可とする。但し、この場合、開発者にて市販の辞書を購入し、IPAへの全ての開発成果の納品の際に、IPAにおいて辞書が使用できるように権利処理をしておくこと）

なお納入に際しては、IPAが別途調達する機器への開発環境からのプログラム・データ等の移植及び必要な各種設定、動作確認等を含むこととします。

(6) 成果物に係る知的財産権の取扱い

請負者は、当該事業（契約）に関してIPAが開示した情報（公知の情報を除きます。以下同じです。）及び契約履行過程で生じた納入成果物に関する情報を本契約の目的以外に使用又は第三者に開示もしくは漏洩してはならないものとし、そのために必要な措置を講ずるものとし、（本件において知り得た事項については、外部に漏らさないでください。）

当該事業実施（契約履行過程）で生じた納入成果物に関し、原則著作権法第27条及び第28条に定める権利を含む全ての著作権及び営業秘密はIPAに帰属し、IPAが独占的に使用するものとし、

但し、請負者は当該事業実施（契約履行過程）で生じた著作権営業秘密を自ら使用する場合は、IPAと別途協議するものとし、

納入成果物に第三者が権利を有する著作物（以下、既存著作物）が含まれる場合は、IPAが特に使用を指示した場合を除き、当該著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約に係る一切の手続きを行うものとし、この場合、請負者は当該契約等の内容について事前にIPAの承認を得ることとし、IPAは既存著作物について当該許諾要件の範囲内で使用するものとし、

なお、当該事業実施に基づく作業に関し、第三者との間に著作権に係る権利侵害の紛争が生じた場合は、当該紛争の原因が専らIPAの責めに帰す場合を除き、請負者の責任、負担において一切を処理するものとし、この場合、IPAに係る紛争等の事実を知ったときは、請負者に通知し、必要な範囲で訴訟上の防衛を請負者に委ねる等の協力措置を講じるものとし、

(7) プロジェクト実施上の留意点

IPAは、開発者（再請負者を含む）に対し、事業の実施状況等については報告もしくは資料を求め、または実地に調査を行い、業務の実施管理上必要な措置をお願いすることがあります。その場合は、開発者はこれに協力していただきます。

(8) その他

次の場合、IPAは、契約を解除し、又は契約金額の全部若しくは一部について支払いを行わず、また、支払い済みの場合にあつては、提案者にその返還を求めるものとし、

- ・ライセンスや公開等の取り扱いについて、契約時に定めたものと異なる取り扱いがなされた場合
- ・目的外への経費の充当、適正な範囲を超える額の一般管理費への充当、その他不適正な経費処理があつたとき
- ・IPAへの報告等に重大な虚偽があつたとき
- ・検収が不合格だったとき

5. 応募要領等

本事業の公募受付はIPAのWebサイト上で電子申請により行います。電子申請以外での提出は受け付けませんので注意してください。

電子申請にて応募するには、IPAの発行する申請用電子証明書が必要となります。

この証明書取得には2～3日要しますので、証明書の取得はお早めをお願いします。

詳細は、以下のURLを参照してください。

<https://www.ipa.go.jp/about/densinsei/tejun/e-ipa.html>

【期限切れ証明書に関する注意】

過去に証明書を取得している方は証明書の有効期限のご確認をお願いいたします。
(※一部の登録済み証明書につきましては本公募の締切以前に有効期限が切れます。)

有効期限が切れている場合、電子申請ができません。また、期限延長の手続きはありませんので、新たに取得していただく必要があります。

尚、有効期限が不明の場合の確認方法等の詳細は、以下のURLを参照してください。

<http://www.ipa.go.jp/about/densinsei/faq/index.html>

(1) 受付期間

本公募の審査の対象は、以下の日時までに電子申請で受け付けたものとします。

2006年11月10日(金) 17:00

添付ファイルを含めて、全ての情報がIPAに転送された時間をもって受理時刻とします。受付はこの受理時刻をもって判断します。申請にあたっては、時間的余裕を持って作業・送信していただくようお願いします。また、ログイン後、長時間申請を行わない場合、セッションが切れますのでご注意ください。

申請方法の詳細は、上記URLのマニュアルを参照してください。

(2) 提出書類

提案時に添付する書類(提案書)は以下のとおりとなります。

- ① 申請書.....【様式-1】 1部(必須)
- ② 詳細説明書.....【様式-2】 1部(必須)
- ③ 会社概要.....【様式-3】 1部(必須)
- ④ 企業コンソーシアム概要.....【様式-4】 1部

各書類の詳細に関しては「6. 提案書記入要領」を参照してください。

[財務審査必要書類]

提案書申請時において、財務審査に関する資料は不要ですが、審査期間中にIPAから提出を求める場合がありますので、あらかじめ準備しておいていただけますようお願いいたします。

- ① 商業登記簿謄本(申請日以前3ヶ月以内のもの)
- ② 会社経歴書(会社案内、パンフレットでも可)
- ③ 決算書(直近3期分、勘定内訳表を含む)
- ④ 法人税確定申告書の写し(直近2期分、税務署の受付印のある申告書一式)
- ⑤ 直近の消費税及び地方消費税の納税証明書(その1)
- ⑥ 資金繰り表(公募締め切り月を含む向こう6ヶ月)
- ⑦ 試算表(直近分)
- ⑧ 試算表時点の売掛金内訳

(注意) 提出書類は返却いたしません。機密保持には十分配慮いたしますが「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成13年法律第140号）」が施行されており、IPAもその対象となっており、提出書類を公開することがあります。

(3) 電子申請画面での入力項目

電子申請画面に入力する際は、以下の点について留意してください。

- ・テーマ名
「検索システム・IPA（いば）サーチの構築」と入力してください。
- ・申請金額概算
【様式-1】申請書の申請金額と同じ金額（消費税込み）を入力してください。申請書と異なる場合は、電子申請画面からの入力を正式なものとしします。
- ・代表者役職・氏名
提案機関の代表者（社長、理事長など）の役職名および氏名を入力してください。審査結果の通知書は、代表者宛に作成します。なお、連絡先および送付先は連絡担当窓口とさせていただきます。
- ・未納税額の有無
納付期限を過ぎた未納税額の有無を入力してください。
- ・連絡担当窓口
連絡担当者について【様式-1】申請書と同じ情報を入力してください。「6. (2) 申請書の記入方法」も参考にしてください。
- ・添付ファイル
【様式-1】「申請書」、【様式-2】「詳細説明書」、【様式-3】「会社概要」、【様式-4】「企業コンソーシアム概要」の最大4つのファイルを添付してください。

(4) 電子申請終了の確認

電子申請が終了すると、「受付番号」が表示されます。ページを印刷して、番号の保管をお願いします。応募案件についてのお問い合わせには、この番号が必要となります。

(5) 応募に関する問い合わせ

独立行政法人 情報処理推進機構
ソフトウェア開発・金融推進部
「検索システム・IPA（いば）サーチの構築」公募担当
E-mail: 06ipasearch-kobo@ipa.go.jp

※応募に関するお問い合わせは、前述のE-mailアドレスまでお願いします。

(6) 電子申請に関する問い合わせ

独立行政法人 情報処理推進機構

総務部 システム管理グループ 電子申請システム担当
TEL: 03-5978-7519
E-mail: sysg@ipa.go.jp

※問い合わせ受付時間 9:30～18:15 月～金曜日(祝祭日、振替休日を除く)

6. 提案書記入要領

(1) 提案書記入上の注意

記入にあたってはワープロ等を使用し、日本語で正確に記述してください。文字の大きさは10ポイント以上とします。用紙サイズはA4です。Adobe Acrobat (PDF)、Microsoft Word、一太郎、RTFのいずれかのファイル形式で作成してください。

文中の造語、略語、専門用語については定義を記述してください。初出時に注釈として示すか、用語一覧等に整理して記述してください。

(2) 申請書の記入方法

付録のフォーマット【様式-1】を用いて、以下の事項を記載してください。

① テーマ名

「検索システム・IPA (いば) サーチの構築」と記入してください。また、電子申請の応募画面において登録するテーマ名も一致させてください。

② 申請事業名

「ソフトウェア開発支援事業」と記入してください。

③ 申請金額

開発等項目に要する金額を百万円単位(消費税込み)で記入してください。申請金額は詳細説明書【様式-2】に記載する概算費用(消費税込み)と必ず一致させてください。

④ 連絡担当窓口

連絡担当者について、企業・団体名、所属(部署名・学部名等)、役職、氏名、住所・所在地、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス、WebサイトのトップページのURLを記入して下さい。

提案書に関する問い合わせ、審査に伴う諸連絡、採否の通知等に関しては、基本的にIPAからこの連絡先に対してのみ連絡を行います。確実かつ迅速な対応が取れる窓口を設定してください。

⑤ 提案概要

提案の概要が把握できるように、200字程度で、提案の特徴を中心に簡潔に記入してください。

(3) 詳細説明書の記入方法

添付の【様式-2】を用いて詳細説明書を作成してください。尚、該当しない項目は空欄のままにせず、「該当なし」と明示してください。また、提案書に記入する必要な情報は全て【様式-2】に記載し、参考資料等の添付はしないでください。

詳細説明書は自由記述とします。最初のページの右上に【様式-2】と記載をお願いします。別紙1に記載された公募内容を踏まえて提案者が実現可能なことを、10枚程

度にまとめて記述してください。

① テーマ名

「検索システム・IPA（いば）サーチの構築」と記入してください。

② 提案内容

公募内容（別紙1）に基づき、提案内容について以下の項目に従って具体的に記述してください。

(a) 機能と実現方法

別紙1に提示した機能毎に、具体的な実現方法を記載してください。尚、新たな機能を提案する場合は、各機能の概要を記述し、その機能が持つ外部的な要件を箇条書きで記述してください。

(b) 想定する使用形態

図等を使用して、検索システム・IPA（いば）サーチの想定される使用形態を具体的に記述してください。その場合、ユーザー、及びシステム管理者にとっての効果を明確に示してください。

(c) ソフトウェアの動作環境

IPAが別紙1で提示するシステム構成条件以外に、必要な動作環境がある場合は、図等を使用して記述してください。

(d) 作業項目に関する取り組み方

別紙1に提示した作業項目で、プログラム検査や品質確保に関する取り組み方を記述してください。

③ 実施体制

(a) 実施体制図

実施体制について、図等を使用して記述してください。特に異なる組織が含まれる場合（共同開発者、外注等）には、それぞれの役割分担と関係についても記述してください。

(b) 実施担当者

プロジェクトリーダー、及び主担当者の氏名、所属（部署名等）、役職、経験年数、本提案での担当役務、主な経歴、及び実績について記述してください。

なお、Namazu Projectとの連携がある場合は、これについても記述してください。

④ 実施スケジュール

作業項目ごとの期待される開発成果、及び開発スケジュール（マイルストーンを含む）を記載してください。開発スケジュールに関しては、機能項目毎に記述してください。尚、開発期間は「4. (2) 開発期間」を参考にしてください。

⑤ 概算費用

人件費、諸経費（一般管理費、消費税）等の、本提案実施のための予想所要経費を記述してください。費用計上にあたっては、②提案内容にて記述した開発項目単位に概算費用（消費税込み）を記入するとともに、費用見積りの内訳について記述してください。

原則として、ソフトウェア開発の人件費、外注費、及び一般管理費とします。人件費に関しては必要工数も記述してください。金額の単位は百万円としてください。開発用ハードウェアの購入費等は対象とならないので注意して下さい。

⑧ 関連実績

類似の調査・開発・研究などの関連実績については必ず記載してください。関連実績が無い場合は「実績無し」と記述してください。

⑨ 保有する特許等について

本プロジェクトに関して、提案者が保有あるいは出願中の基本的特許および基本的特許に係わる周辺の特許などの知的財産権について記述してください。また、他人が保有する基本的特許および周辺特許について、その内容と抵触しない理由を記述してください。

(4) 会社概要の記入方法

提案者の企業は会社概要を提出してください。企業コンソーシアムを組む場合には、主な参加企業1社の会社概要を提出してください。付録のフォーマット【様式-3】に従い作成してください。

(5) 企業コンソーシアム概要の記入方法

企業コンソーシアムを組む場合のみ作成が必要です。設立予定の場合でも提出が必要となります。付録のフォーマット【様式-4】に従い作成してください。

7. その他

- ・ 本開発テーマに類似した内容で、国、自治体、及び特殊法人等の公的団体等の公募等に応募しているか、あるいはその予定があるかについて記述してください。該当する場合は、その団体等の名称、助成制度の名称、及び本提案との関係について記述してください。
- ・ 本事業への応募を行った後、他の公的助成制度に採択された場合には、速やかにIPAに報告してください。

以上

「検索システム・IPA（いば）サーチの構築」 公募内容

1. テーマ概要

本公募は、組織固有の情報検索を向上させるための、サイト内検索システム「検索システム・IPA（いば）サーチ」の開発を実施するものである。

現在のIPAの検索システムの機能強化と、インタフェースの改良やマニュアルの整備を行い、サイト内検索システムとして利便性に優れた検索システムを実現する。また、広く一般に普及している検索エンジン「Namazu」をベースに開発することで、可用性の向上と、公共財としての社会への普及を図る。

本公募の実施にあたり、「検索システム・IPA（いば）サーチ」が、サイト内検索において同様の問題を抱える組織にとってのソリューションとなることを目指し、以下のテーマを設定する。

2. 公募内容

本提案の対象業務の範囲は、「検索システム・IPA（いば）サーチの構築」に関わるシステムの設計、開発、テスト、導入、動作確認とする。

3. 構築内容**3. 1 作業項目**

(1) 当該検索システムの構築に向けた、基本設計及び詳細設計

当該検索システムの構築に向けた、システムの基本設計及び詳細設計を行うこと。

(2) 当該検索システムの構築に向けたシステム開発

前述3. 1. (1) で作成した基本設計及び詳細設計に基づき、システム開発を行うこと。

(3) 当該検索システムの情報の表示方法に関わるデザイン

当該検索システムの検索結果を適切に表示し、ドリルダウン機能等ユーザーの検索効率を上げる工夫のされた画面遷移、アイコン等のデザインをすること。

(4) システムテスト

当該システムのテストを実施すること。テスト実施においては、できるだけ早い段階で計画を立案し、実施すること。

(5) 運用環境動作確認

開発環境から運用環境へのプログラム及び情報等の移植及び各種設定、動作確認等を行うこと。

(6) その他

開発にあたっては、随時IPAと打ち合わせを行い、必要な調整を行うこと。

3. 2 システム要件

以下の内容を最低限、実現する検索システムの開発を行うこととする。

3. 2. 1 システム概要

(1) 運用形態

① 本システムは、「利用者」「管理者」の2種類のオペレータを前提にしている。

② 「利用者」とは、本システムを利用する者を指す。IPAがWeb上で公開する成果事例等について本システムを用いて自由に検索、照会することができる。

- ③ 「管理者」とは、IPA内のネットワーク環境から、本システム全体の管理・運用を行う者を指す。本システムの利用状況に応じたインデックス更新や、類義語辞書の更新、チューニング等を行うことができる。
- ④ 管理者が本システムを管理するための管理用システムを有することとする。
- ⑤ 「利用者」は、管理用システムにアクセスができない設計とする。

(2) 開発前提条件

「検索システム・IPA (いば) サーチ」は、既存のIPAサイト内検索システムを改良することで、社会的ニーズに合致した、新たなサイト内検索システムの開発を目指すものである。そこで、開発にあたっては次のことを条件とする。

- ① ゼロからの新規開発は実施しない。
- ② 既存システムへの機能拡張、追加を重視。
- ③ 実装主体（ユーザーの利便性を重視）であり、研究開発要素は盛り込まない。
- ④ IPAの現状システム構成（Namazu、KAKASI、SKK¹）は変更しない。
- ⑤ 保守、拡張（カスタマイズが可能）が簡単であること。

既に要件定義を行い、IPAが求める以下の点を踏まえたシステム化に関する要件を章3. 2. 2に纏めている。これらの要件を踏まえた上で、さらに必要と思われる機能があれば提案すること。

①検索精度の向上

- ・同じ意味でも異なる言葉（類義語）を検索キーワードに指定した場合に、検索結果にばらつきが出ることを防ぐため、類義語辞書を利用することとし、検索結果の表示の際に検索キーワード（類義語を含む）を明示させる。
- ・初めてサイトに訪れたユーザーでも、目的の情報が容易に検索できるよう、組織のサイトに合う適切な見出し語をタイムリーに設定できる、インデックス作成機能を強化させる。

②ユーザー・インタフェースの向上

- ・チューニングをはじめとするメンテナンスについては、これまでサイト管理者に専門知識と高度な技術がなければ困難であったが、インタフェースの改良やマニュアルの整備を行うことで、このようなサイト管理者の負荷を軽減する。
- ・具体的には、
 - Webアプリケーションのインタフェースとして、「使いやすい」ものであること。
 - 「見やすい」、「探しやすい」、「選びやすい」デザインであること。
 - 「管理者」インタフェースのセキュリティが保持されること。
 - 将来的な更新や変更などが容易な、分かりやすい構造であること。

③システム可用性の向上

- ・広く一般に普及している検索エンジン「Namazu」をベースに開発することで、可用性の向上と、公共財としての社会への普及を図る。

3. 2. 2 機能要件

(1) 類義語辞書にかかる構築・更新・利用機能

ユーザーが検索する際に、ユーザー自身が設定した検索語による検索だけでなく、設定

¹ Simple Kana to Kanji conversion programの略。京都大学 佐藤 雅彦 (Masahiko SATO) 教授 (大学院情報学研究科 知能情報学専攻 知能情報ソフトウェア講座 ソフトウェア基礎論分野) により1987年に設計、開発された日本語入力プログラム。

した検索語の類義語を構築した類義語辞書から抽出し、この類義語による検索を可能にするものである。

このため、類義語辞書に関するシステム機能は以下のものがあげられる。

①辞書作成機能（「管理者」）

辞書を初期作成する機能であり、辞書の登録、登録内容の出力機能が必要となる。辞書形式については、見出し語、対応する類義語、属性情報（重み等）の関係等があげられるが、詳細については、提案内容に明記する。

②辞書更新機能（「管理者」）

登録された類義語（属性情報を含む）を、検索、修正、削除、登録（一括登録を含む）する機能を有するものである。同一の「見出し」を持つ「対応する見出し群」を一覧表示しながら編集できるなど、効率的に辞書更新作業が行える環境を整える。

また、新規に見出し語を登録し、その類義語と詳細情報を入力する機能も実装するものとする。見出し語自体の削除、見出し語とその対応する類義語の追加・修正・削除ができる機能を持たず。詳細については、提案内容に明記する。

③辞書参照機能（「利用者」）

「利用者」が辞書を利用する時、入力した検索語に対応した類義語を表示、選択できることをいう。また、表示の際には、属性情報など用いた出力順序設定等が可能であることが望ましい。

④類義語選定機能（「利用者」）

上記「辞書参照機能」により表示された類義語について、全部または一部を選択可能とする。

⑤簡易類義語検索機能（「利用者」）

類義語一覧を表示することなく、類義語全てを選択したものとみなし簡易に類義語検索を行うものとする。

⑥類義語検索機能（「利用者」）

類義語検索は入力検索式から類義語の重み付 OR 検索式へ変換した上で検索するものとする。

⑦重み付検索機能（「管理者」）

検索式からスコアの重み係数を指定する機能を有するものとする。また、重み付検索を行う機能を有するものとする。

⑧類義語利用頻度等の管理・統計作成機能

類義語の管理のため、検索履歴ログ等から利用頻度あるいは類義語利用頻度等の統計表を作成する機能を有する。

⑨類義語辞書のエクスポート、インポート機能

検索システム以外の外部からの辞書の導入、提供する機能を有する。

（2）検索機能の向上

① 当該検索語が該当した文章を表示する機能

ユーザーの指定した検索語（類義語を含む）に一致した検索対象文書を表示するにあたり、文書のどこに当該検索語があるかを明示するものである。

該当箇所は全て表示可能とするものとし、具体的にはインデックスに保存されたプレーンテキストから、検索語を含む文章を表示する機能を有するものとする。

②検索効率・精度の向上のための機能強化

フレーズ検索機能の強化のため2語以上の複合語検索を容易に実現するための機能を有する。

(3) インデックス作成機能の改良

①PDF ファイルをページ単位に分割してインデックスに登録する機能を追加

PDFについてはページ単位で検索を行うために、ページ単位にインデックスに登録する機能を有することとする。

②インデックスにプレーンテキスト化した文書を保存する機能の追加

検索語を含む文章を表示するために、プレーンテキスト化した文書をインデックスに保存する機能を有することとする。

(4) 本システムを効率よく運用するために必要なドキュメントの整備

①システム機能の詳細説明書の作成

システムの機能と構成を具体的に分かりやすく説明する。

②システム・チューニングの詳細説明書の作成

本システムを他の機関が導入する際に、効率よく運用可能にするための詳細説明書を作成する。複数インデックスを用いたサイトの利用、及びIPAサーチに適した文書の作成方法等を記載する。

③チュートリアル機能

使用例の説明書の作成を行う（例：「フレーズ検索時のキーワードの書き方」等）。

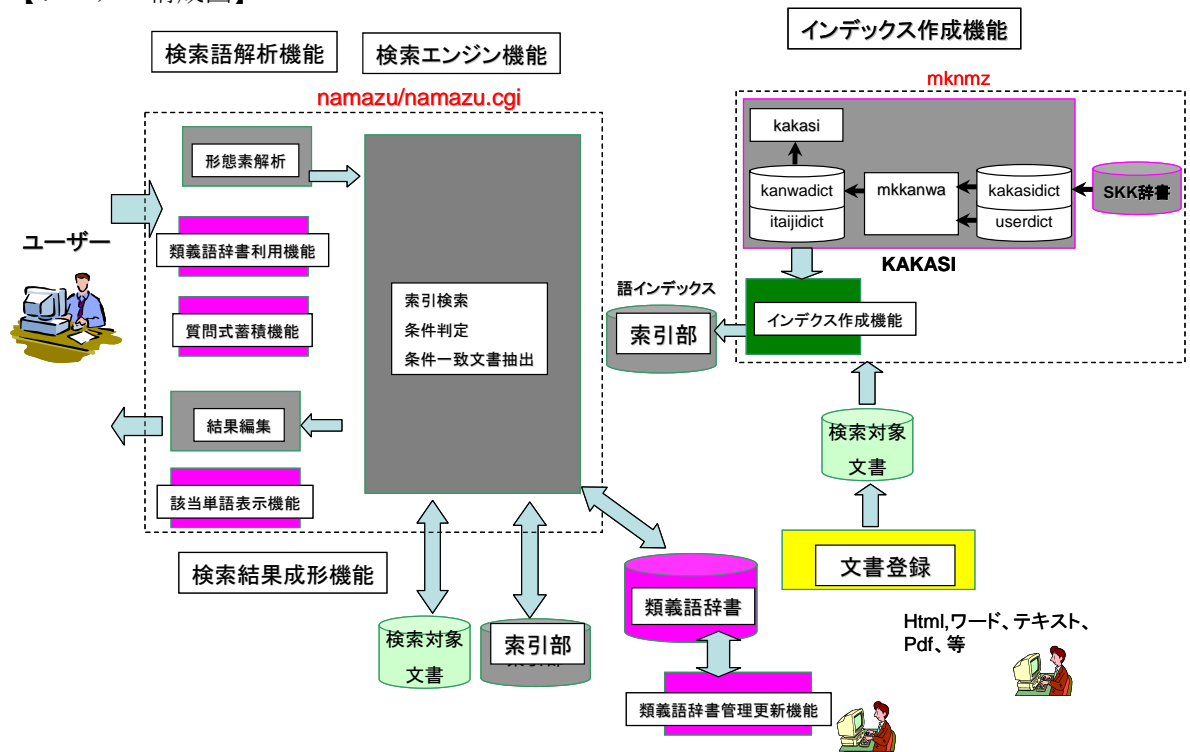
これは、本検索エンジンの機能を十分に発揮させるため、ユーザー等がこの機能を理解し、利用を促すことで、検索効率等の向上を図る。

(5) その他の機能

例えば、Namazu2.1.xに組み込み済みの検索オプションの改良や、I/Fの改善、デザインに言及した提案等があれば、記入する。

3. 2. 3 システム構成

【システム構成図】



運用環境

運用環境の概略は以下のとおり。

その他の条件	内容
OS	Linuxで動作すること。(※1)
Perl	Perl 5.005 以上で動作するものとする。
Namazu	Namazu 2.1.x をベースとすること。(※2)

※1 OS について

開発成果はLinuxで稼働することを必須とする。

また、その他のOS (FreeBSD, NetBSD, Solaris) についても稼働することが望ましい。

※2 Namazu 2.1.x の入手方法

Anonymous CVS 経由で最新のソースコードを誰でも入手できる。方法は以下のとおり。

開発版(2.1.x)のソースを入手したい場合には、Anonymous CVSサーバーにて以下のように実行する。

```
% cvs -d :pserver:anonymous@cvs.namazu.org:/storage/cvsroot co -r development-2-1 namazu
```

OSのバージョンの詳細については、契約時に別途説明するものとする。

3. 3 セキュリティ要件

以上の内容を最低限、実現する検索システムの開発を行うにあたり、セキュリティ要件を記述することとする。

4. 詳細説明書記入要領

記入内容

公募要領「6.(3)詳細説明書の記入方法」に従って、【様式-2】を用いて記入してください。

5. 審査基準

以下の審査基準に基づき、提案された内容を審査します。

(1) 提案書の記載内容等

- ・ 公募要領「6.(3)詳細説明書の記入方法」で示された項目について、不足なく記載されているか。また、満たされているか。

(2) 提案と計画

- ・ 提案と計画が具体的かつ明確に設定されているか。また提案の実現性、計画の妥当性はどうか。
- ・ 作業項目、作業方法について明確に示されているか。
- ・ 提案内容に対して、経費は妥当であるか。
- ・ 効果的な提案が含まれているか。

(3) 実施体制

- ・ プロジェクト管理・推進能力はどうか。業務要員（プロジェクトリーダー）がシステム設計、システム開発、デザイン、情報の制作に関するプロジェクトの管理実績を有しているか。
- ・ 当該システム開発に関する体制が適切であるか。システム実現方式に関わる適用技術選択や連携方式、データベース操作等、幅広い解決策の提案を行う能力を有しているか。
- ・ 当該システムに必要な Web 画面等のデザインを行う作業体制が含まれているか。

以上

申 請 書

1. テーマ名： 検索システム・IPA（いば）サーチの構築	
2. 申請事業名：	
3. 申請金額：	
連 絡 担 当 窓 口	4. 企業・団体名：
	所属（部署名）：
	役職：
	氏名：
	所在地：〒
	TEL：
	FAX：
	E-mail：
	URL：
	5. 開発概要：

【様式－2】

【詳細説明書】（総ページ数： ）

テーマ名： 検索システム・IPA（いば）サーチの構築

（「6. 提案書記入要領」の「(3) 詳細説明書記入要領」
に基づいて記述してください）

会社概要

会社名							
代表者氏名		URL	http://				
本社住所	〒						
設立年月	西暦	年	月	主取引銀行			
資本金	百万円		資本系列				
従業員数	人		加盟協会				
会社の沿革：							
主要役員 (非常勤は役職 の前に○印を記す)	氏名	年令	役職名	担当部門	学歴・略歴		
		才					
		才					
		才					
		才					
		才					
主要株主	株主名		持株数	構成比 (%)	貴社との関係		
				%			
				%			
				%			
				%			
				%			
従業者状況	従業者数			うち技術者数			うち情報処理技術者試験合格者数(前期末)
	前々期末 / 期	前期末 / 期	今期末(見込み) / 期	前々期末 / 期	前期末 / 期	今期末(見込み) / 期	
関連企業				主要外注先又は仕入先			

会社概要

会社概要に関する担当者連絡先	所在地 〒			
	所属・氏名	TEL		
		FAX		
		E-mail		
業績	期	前々期 (確定)	前 期 (確定)	今 期 (見込み)
	項目	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /
	売上高 (内、情報処理部門の売上高)	百万円 ()	百万円 ()	百万円 ()
	営業利益	百万円	百万円	百万円
	経常利益	百万円	百万円	百万円
	資本勘定	百万円	百万円	百万円
	当期末処分利益	百万円	百万円	百万円
	借入残高 (社債、割手含む)	百万円	百万円	百万円
定期預金残高	百万円	百万円	百万円	
情報処理部門の 売上比率	受注開発ソフトウェア比率 (受注開発ソフトウェアの売上高/情報処理部門の売上高)	%	%	%
	パッケージ販売比率 (パッケージ販売の売上高/情報処理部門の売上高)	%	%	%
	その他 () (その他情報処理部門の売上高/情報処理部門の売上高)	%	%	%
主要取引先とその売上高	主要取引先		直近決算時点における売上高	
			百万円	
			百万円	
			百万円	
			百万円	
			百万円	
			百万円	
			百万円	
借入金、社債等の元本返済・利払いの遅延の有無		有・無	税金支払い遅滞の有無	有・無

企業コンソーシアム概要

名称			
(代表者氏名)		()	
設立趣旨			
設立年月	西暦 年 月	参加企業数	
事務局	企業・団体名		
	担当部署名		
	担当者役職		
	担当者氏名		
	担当者 E-mail		
	住所	〒	
	TEL		
	FAX		
	URL	http://	
主な参加企業名			